



Since  
1972

Tokyo Association of Psychiatric Clinics

一般社団法人  
東京精神神経科診療所協会  
“東精診”  
入会のご案内

東京都内で精神科、神経科を標榜する診療所開業医が集まり「東京精神科医会」が発足したのは1972(昭和47)年11月。約40年の歩みを経た2011(平成23)年6月、法人化の手続きを経て、現在の組織である「東精診」が誕生しました。

現在、東精診には都内の精神科専門医約270名が会員として参加しています。多くの会員は医師免許登録後に精神科臨床の修練を積み、日本精神神経学会の「精神科専門医」や「同指導医」、厚生労働省による「精神保健指定医」などの資格を得て臨床活動に取り組んでいます。

そして、自らの手による精神保健・医療・福祉の向上を願う公共性の高い活動を続けてきた結果、東京都、東京都医師会など関係機関との太いパイプができ、精神科専門医の唯一の団体として種々の施策に深く関わり、数々の公職の一翼を担うまでに至っています。

つきましては、当協会をご紹介する資料として、① 本パンフレット、② 機関紙である東精診ニュース、③ 都内6支部に所属する会員のマップ、④ 入会申込書、を同封しましたので、当協会の活動と意義などをご理解いただければ幸いです。

ご入会を心よりお待ちしております。

2021年5月

一般社団法人 東京精神神経科診療所協会

会長 芦川 伊世子

**東精診  
ホームページ  
を是非ご覧  
ください**

**多用途  
ホームページ**

自治体、関係機関が高  
頻度に利用しているの  
で自院の紹介を効率的  
に実現

**外来診療  
スキルの研鑽**

診療レベルの向上、外来  
精神医療に役立つ機関  
誌、研鑽機を利用可能

**情報  
ネットワーク**

厚労省、東京都、東京都  
医師会、親団体の日本  
精神神経科診療所協会  
(日精診)等との迅速な  
情報共有

**6支部  
災害時の  
相互支援**

6支部(別添参照)別に  
地域に密着した相互支  
援機能の活用

**クリニック運営  
の問題解決**

労務・法務・警備の専門  
支援サービス、顧問の専  
門家と解決へ

**精神科救急  
の実践**

東京都委託事業への参  
画・初期救急担当医とし  
てトリアージ対応を実践

**地域連携  
の活用**

地域・他科・病院等との  
診療に密着した連携機  
能を活用可能

**公職への参加**

厚生労働省、東京都な  
ど行政・関連学会等の各  
種委員を東精診として  
公募し推薦

- (8) 東京都総務局人権部被害者支援連携担当課～性犯罪・性暴力
- (9) 東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健課精神科医療地
- (10) 東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課地域連携型認知
- (11) 東京都災害時こころのケア体制(東京DPAT)連絡調整会議、
- (12) 東京都精神保健福祉協議会
- (13) 日本医師会・東京都医師会
- (14) 東京精神科病院協会との合同執行部会
- (15) 東京都各科医会協議会
- (16) 日本精神神経科診療所協会および他地区協会



巻頭言

一般社団法人 東京精神神経科診療所協

表彰(平成)

例会

講演 2「『うつ病』の発見からフォワード・リサーチの発展まで」  
筑波大学国際統合脳神経科学研究機構(WPI-ITBS) 機構長 高橋 洋一

2 講演 1「『社交不安・パニック・強迫の認知行動療法』」  
千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学 教授  
医学部附属病院 認知行動療法センター センター長  
子どものこころの発達教育研究センター センター長 清水 栄南

講演 2「薬理作用からみた第2世代抗精神病薬の臨床特性と使い方のコツ」  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座 宮田 久嗣、石井 洵平

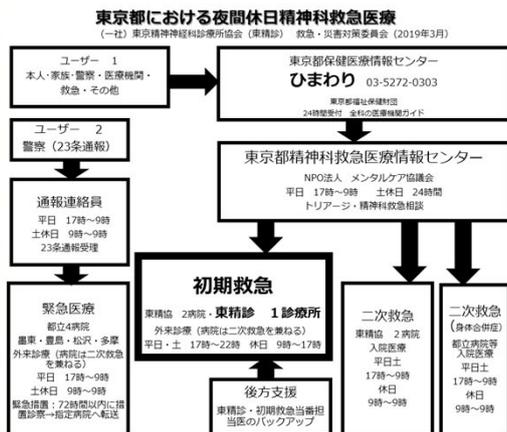
3 講演 1「うつ病の新たな病態理論からSSRIとSNRIの違いを考える」  
国立大学法人神戸大学大学院 医学研究科精神医学分野 講師 朴 秀賢

講演 2「うつ病治療のいま。一軽症うつ病を中心に」  
学校法人東京女子医科大学東医療センター 部長・臨床教授 大坪 天平

4 ミニシンポジウム  
これからの東精診活動に期待すること  
～東京における地域医療ネットワーク構築の視点から～  
「医師会の立場から」  
公益社団法人東京都医師会 副会長 平川 博之

5 講演「不眠症の最新治療に関して」  
杏林大学医学部精神神経科学教室 講師 高江洲 義和

6 ミニシンポジウム  
「東京都で想定している大災害と精神科クリニックにおける対策を考える」  
①行政の立場から



# 入会方法は？

- 1. 入会資格：**精神科の臨床経験が5年以上で、東京都内において精神科を主たる届出科目とする診療所の管理医師、またはそれに準ずる医師。正会員は1診療所に1名とし、他は賛助会員とします。正会員は原則として 社団法人日本精神神経科診療所協会 の会員であることが必要です。
- 2. 申込方法：**正会員1名の推薦を得て、所定の入会申込書に記入し、東京精神神経科診療所協会事務局にご提出下さい。正会員との面識がない場合などお困りの場合は、東精診事務局へご照会ください。精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医の有無は参考にしますが、お持ちでなくても入会は可能です。最終的には理事会で審査し、入会が認められます。
- 3. 会費：**会員区別(入会金/年会費)：正会員 3,000円/ 36,000円 (3,000円/月) 賛助会員A 1,500円/ 18,000円 (1,500円/月) 正会員の精神科診療所に勤務する精神科医師。 賛助会員B 1,500円/ 18,000円 (1,500円/月) 正会員及び賛助会員A以外の精神科医師賛助会員C なし /100,000円

## 東精診6支部長よりご挨拶



4.城北支部：越川 裕樹

城北支部は北区、板橋区、豊島区、練馬区の4区からなります。精神科診療所が多くあり、多くの患者様の医療を地域で担っています。昨今、大地震等の災害で自院の機能が一時的に麻痺してしまうという事態に備えることが求められています。被災しなかった支部内の他の診療所がカバーするといった互助機能が働くことも期待されています。その為にも日頃から親睦の機会を持ち連携を強めておくことが大切なのではと考えています。皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



3.城西支部：戸刈 伊世子

城西支部長を拝名されました戸刈伊世子です。私は診療所型認知症疾患医療センターにもなっておりますので、医師会の先生方と多く連携しております。城西支部は杉並区、中野区、新宿区で、東京都の中でも開業医はもろろんのご精神科診療所が最も多い地区です。地域医療をされておられる先生と沿線駅近くで遠くからこられている患者さんも診る診療所が混在していると思います。自宅から近いところで開業されておられる先生方も多くおられるので、災害時には壊滅的な災害でなければサポートしやすい地域であろうと思います。医師会と協力して密に医療連携や災害対策ができることを希望しております。



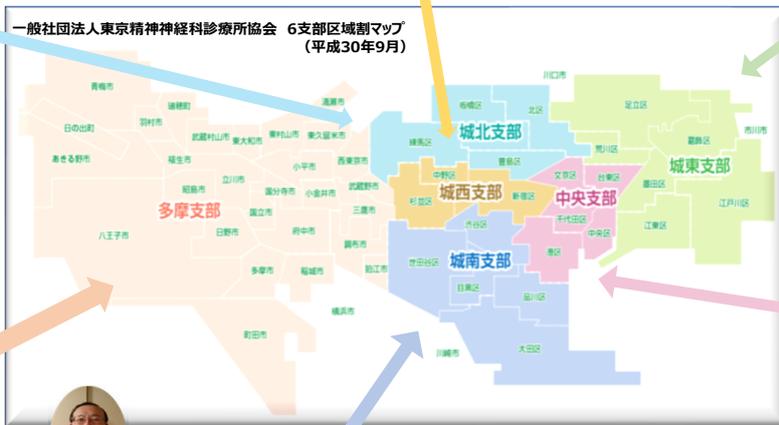
5.城東支部：浅川 雅晴

城東支部長の浅川クリニック浅川雅晴と申します。最近、グレーゾーンASDの利用者が増え、復職支援に力を入れています。今後はナース、PSW、心理職等との多職種連携が必要と考えています。  
① 城東エリアは、閉鎖病棟の入院施設が少ない地域のため、遠方への入院となり、患者様に不便をかけることが問題点。  
② メンタル疾患の方が一般医を受診することが多く、そのための専門知識研修が必要状況。  
①、②より病診連携及びGP連携が必要な地域と考えております。



1.中央支部：高野 知樹

区中央部の支部長を仰せつかりました神田東クリニックの高野 知樹と申します。区中央支部の特徴は、①日中人口が夜間人口の4倍ほどあり、働く人々の受診者が東京で一番多い地区であること、②6支部中クリニック数が最多であることです。都民が精神科医療を利用して早期治療、早期回復を果たすことを目標に、地域医療機関、行政が協力、連携していくことはもちろんですが、この地域に根差した精神医療の課題解決の過程に、産業保健の発展に関する多くのヒントが潜んでいると思われまます。それらを探り、地域特性にあった精神医療の推進を目指したいと考えています。ご協力よろしくお願ひいたします。



6.多摩支部：中野 和広

多摩支部はなんといっても広いことが特徴です。区部と比べて精神科の診療所密度は低く、一方で精神科病院の数は多いです。そのため診療所と病院の関係も区部とはいささか違っているのではないのでしょうか。その広い多摩支部で最も西の診療所の私が支部長に指名されました。近年、東精診の会は主に新宿で開かれてきたため、多摩地区で仕事をしていたにも関わらず集まっていた。南北の交通機関が乏しいことに加え、改めて多摩の中で集まって地域を見直せばと考えています。



2.城南支部：羽藤 邦利

第2支部は、渋谷区、世田谷区、目黒区、品川区、大田区です。昼間人口284万、夜間人口240万。世田谷区と大田区は夜間の方が人口多く、精神科診療所はどちらかというと地域密着型です。他の区は逆です。渋谷駅も、どの駅も、道路もビル群も常時変貌が続いています。混沌とした地域です。混沌した中で精神科診療所どうしが繋がることは安心で心強いことです。診療所の繋がりをもって、最初に取り組みたいことは、首都直下型震災対策です。3.11の時、この地域の道路は人で埋まっていた。首都直下型地震ではもっと大変でしょう。大混乱に陥らないように精神科診療所に今から備えましょう。「地域包括ケア」も大きなテーマです。この地域では難題です。皆で知恵を出せたらと思います。

# 精神科クリニックの東京ネットワークに参加しませんか？

都内から選出された理事が、**診察室**から皆様へ、歓迎のメッセージです。

注：本頁は、2019年6月開催の第115回日本精神神経学会（新潟）の関係諸団体紹介ポスターセッションにて掲示しました。



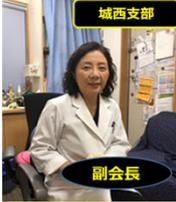
**多摩支部**  
平川博之です。八王子駅前が開業して33年。この間、日精診副会長・東精診会長等の役職を拝命し、現在は東京都医師会副会長を務めています。



**城北支部**  
越川裕樹です。開業して20年。復職支援のグループをはじめとする集団精神療法にも力を入れています。東京精神神経診療所協会の理事を務めています。



**城西支部**  
藤田春洋です。悩んでいるのは患者さんだけではありません。私たち開業医も、一人一人の力を結集して、悩みを解決していこうではありませんか！



**城西支部**  
副会長  
戸刈伊世子です。高齢者と女性のためのメンタルケアがスローガンで、医療と福祉、介護との連携を重視しています。



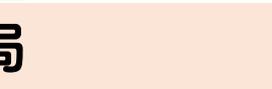
**城東支部**  
浅川雅晴です。  
1. リワークデイケア……社会復帰のための集団療法  
2. 訪問診療……スタッフによる在宅医療  
3. 産業メンタルヘルス……人事職及び一般産業医との連携  
4. 区民への啓発……区役所、保健所での講演及び相談



**城西支部**  
金子宏明です。西新宿のオフィス街と住宅街の狭間にあるクリニックです。ビル診です。私を筆頭に平均年齢高めスタッフ一同で頑張っています。



**中央支部**  
神山昭男です。都心のビルで、医師・看護・心理・PSW等17人のメンバーと産業メンタルヘルス問題に取り組んでいます。



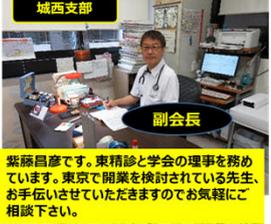
**中央支部**  
高野知樹です。限られた時間で最大限の精神療法的効果を提供でき、かつ患者さんの待ち時間を最小限に出来るか……という永遠のテーマに継続的に挑戦しています。



**多摩支部**  
中野和広です。精神科のクリニックの多い東京でも、青梅線に入ると一気に数が少なくなります。そのため、精神科の何でも屋をやっています。



**城西支部**  
上田容子です。2003年に広島より上京し、2009年に神楽坂にて開業しました。東精診の先生方とのご縁を頂き、お陰様で元気に働いております。



**城西支部**  
副会長  
紫藤昌彦です。東精診と学会の理事を務めています。東京で開業を検討されている先生、お手伝いさせていただきますのでお気軽にご相談下さい。



近江かわれ 東精診会員の クリニック案内

**ホームページ**

お申し込みの受付

診察室の案内

自費診療

住所地从り探す



**城南支部**  
羽藤邦利です。『都心』に開業して36年になります。開業当初から通院しておられる方がたくさんおられます。長くお付き合いいただけているのは診療所ならではのことが多くあります。



**城南支部**  
奥村克行です。皆様と一緒に東京都の地域ネットワークを構築していきたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



**城南支部**  
石井一平です。精神科クリニックは大分敷居が低くなりました。サンダル履きでも受診できます。



公益財団法人日本精神科診療所協会  
平成29年(2017)年定時総会  
第23回(通算4回)学術研究会 東京大会  
精神科診療所の歩む道  
～地域型から専門型へ～

2017年(平成29年)6月17日(土)・18日(日)



**中央支部**  
高野知樹です。限られた時間で最大限の精神療法的効果を提供でき、かつ患者さんの待ち時間を最小限に出来るか……という永遠のテーマに継続的に挑戦しています。

## お問い合わせは？ → 東精診事務局

〒164-0001 中野区中野2-22-4 ベリテ中野402 Tel : 03-6382-5955 Fax : 03-6382-5956  
E-mail : office@tapc.or.jp URL : http://www.tapc.gr.jp/